

新歓教研

4月8日(土) 10時和泉コンセン
上野山小百合さん
(八尾市・小学校)

来年度4月の泉北教組新歓フェスタ(教研)は八尾市の小学校勤務の上野山小百合さんを招きます。今号は、上野山さんの実践紹介の2回目。小学校高学年だけでなく、中学校社会科や保健体育の先生にもおすすすめです。

自分の歯を見る導入

子どもの
意欲をいかす

新単元に入るときは、子どもたちにとって、気持ちも切り替わって学習に対しての興味や意欲もわいてくる時です。

社会・保健は身近なことを教材にしやすい教科です。単元の最初の授業で子どもたちから出てきた疑問も、単元計画に組み込んでいきましょう。

①実物を使う

「昔のくらし」の単元では、炭火アイロンや木製の練炭コタツなど、学校の資料室などにある音の道具を持ってきて「これは何をするものでしょう」と見せることから授業を始めます。農業の学習では米の袋

から生産地や米の種類を言わせたり、野菜を見せ、これは「何県で穫れたものでしょう」などの質問をしてもいいでしょう。

子どもが着ている服のタグを見て、「中国製」などと生産地を調べさせることから工業の学習に入ることもできます。

保健では、自分の歯を鏡で見て、形を調べるなどの導入もできるでしょう。

②写真や映像を使う

社会科の「昔の人のくらし」や「まちのようす」などで、校長室などに保管されていることが多い『○○学校創立○周年記念誌』や、市史などに載っている学校や街の昔の写真を使うと、その変化が一目瞭然。気づいたことを発表させるなどして、現在の様子と比べて話し合うことができます。

保健のインフルエンザの授業では、日本でパニックになった新型インフルエンザの流行時のマ

スク姿の人々の写真を使ったり、エイズの授業ではボツワナ(アフリカ)でのHIVの実態を知らせる映像を使って問題意識をもたせたりしました。

③新聞を使う

新しい単元に関係のある記事があれば新聞を見せることから授業に入る



「ろうきん」のキャッシュカードは、セブン銀行・ゆうちょ銀行など、全国のATMでお引出し手数料は実質無料です。ご相談は泉北教組まで。



ことができます。写真や見出しを拡大コピーして黒板に貼るなどしてもよいでしょう。

④絵本やお話を使う

社会「公害」の導入では、自分が5年生のときに妹が水俣病を発病し辛い思いをしたことなどを語った講演録や、水俣の人々を撮り続けた桑原史成さんの写真集を使いました。

地域の図書館に相談すると、テーマに関係する本をそろえてもらえます。利用してみてください。

学びたくなる

授業

選んだ教材が子どもたちの興味・関心にぴたりとはまったとき、教師はとても喜びを感じ、さらに教材研究がしたくなります。子どもにとっても、授業は受け身的ではなく「自分の知りたいことを学ぶ」授業になっていきます。